

---

# 日立新庁舎建設設計提案競技 審査結果報告書

---

平成25年4月

## 1 審査結果

日立新庁舎の設計提案競技（設計コンペ）について、応募者から提出された構想提案書及び技術提案書、並びに 2 次審査におけるプレゼンテーション及びヒアリングの内容等をもとに、審査委員会において厳正かつ慎重な審査を行った結果、次のとおり最優秀案及び優秀案（次点）を選定しました。

### ○最優秀案

《応募登録番号》 12 番

《提案者名》 有限会社 SANAA事務所

### ○優秀案

《応募登録番号》 05 番

《提案者名》 日本設計・日立建設設計 設計共同体

### 【最優秀案のイメージパース】



## 2 審査経緯

### (1) 選考までの主な流れ

No.	期 日	内 容
1	<b>【H24】</b> 8月 1日 (水)	<b>第1回 設計コンペ審査委員会</b> 《市役所》 (実施要領、審査方法等について協議)
2	10月 1日 (月)	設計コンペ実施要領の公表
3	10月 10日 (水)	現地説明会の開催 (参加事業者：19者) 
4	10月 10日 (水) ～ 31日 (水)	応募登録受付期間 (登録事業者：15者)
5	10月 11日 (木) ～11月 22日 (木)	質疑受付期間 (質疑件数：28件)
6	12月 3日 (月) ～ 13日 (木)	1次審査用図書 (構想提案書) の提出期間 (提出件数：14案)
7	12月 21日 (金)	<b>第2回 設計コンペ審査委員会</b> 《シビックセンター》 (1次審査：14案→5案選定)
8	<b>【H25】</b> 2月 4日 (月) ～ 14日 (木)	2次審査用図書 (技術提案書) の提出期間 (提出件数：5案)
9	3月 2日 (土)	<b>第3回 設計コンペ審査委員会</b> 《産業支援センター》 (2次審査：5案→最優秀案1案、優秀案1案選定)

#### 《審査委員 (6名) 》

- (1) 古谷 誠章 (早稲田大学教授) 【委員長】
- (2) 作山 康 (芝浦工業大学教授) 【副委員長】
- (3) 中井 祐 (東京大学大学院教授)
- (4) 柴田 和彦 (日立市コミュニティ推進協議会会長)
- (5) 村田 悦雄 (日立市議会副議長)
- (6) 福地 伸 (日立市副市長)

## (2) 1次審査について

ア 期 日 平成 24 年 12 月 21 日 (金)

イ 場 所 日立シビックセンター

ウ 審査方法 計 3 回の投票及び協議により選考した。(14 案→5 案)

### (ア) 第 1 回投票結果

- ・第 1 回投票は、14 案に対して、各委員が 5 票を投じて実施した。
- ・投票後の協議により、6 票 (満票) 及び 5 票を獲得した 2 案は、1 次審査の通過者とし、1 票及び 0 票であった 6 案は、落選とした。
- ・また、2 票から 4 票までの 6 案については、具体的な内容について議論し、2 案を落選とし、残る 4 案については、第 2 回目の投票を行うこととした。

獲得票数	提案数	投票後の協議結果
<b>6 票 (満票)</b>	<b>1 案</b>	<b>1 次審査通過決定</b>
<b>5 票</b>	<b>1 案</b>	
4 票	1 案	第 2 回投票へ
3 票	2 案	1 案は第 2 回投票へ、他の 1 案は落選決定
2 票	3 案	2 案は第 2 回投票へ、他の 1 案は落選決定
1 票	3 案	落選決定
0 票	3 案	

### (イ) 第 2 回投票結果

- ・第 2 回投票は、4 案に対して、各委員が 3 票を投じて実施した。
- ・投票後の協議により、5 票を獲得した 2 案は、1 次審査の通過者とし、残る 2 案については、第 3 回目の投票を行うこととした。

獲得票数	提案数	投票後の協議結果
<b>5 票</b>	<b>2 案</b>	<b>1 次審査通過決定</b>
4 票	2 案	第 3 回投票へ

### (ロ) 第 3 回投票結果

- ・第 3 回投票は、2 案に対して、各委員が 1 票を投じて実施した。
- ・投票の結果、得票数が同数であったため、委員長裁決により、1 案を 1 次審査の通過者とし、残る 1 案を落選とした。

獲得票数	提案数	投票後の協議結果
3 票	2 案	<b>1 案は 1 次審査通過決定</b> 、他の 1 案は落選決定 (同点のため、委員長裁決とした。)

### 【1次審査の状況】



### (3) 2次審査について

- ア 期 日 平成 25 年 3 月 2 日 (土)
- イ 場 所 日立地区産業支援センター
- ウ 審査方法 公開によるプレゼンテーション及びヒアリングを行い、その後、投票及び協議により選考した。

#### (7) 投票結果

- ・投票は、5 案に対して、各委員が順位付けを行い、2 票を投じて実施した。
- ・投票後の協議により、1 位の得票数順に、最優秀案と優秀案を選定した。

設計者名	1 位得票数	2 位得票数	結果
12 有限会社 SANAA 事務所	3 票		<b>最優秀案</b>
05 日本設計・日立建設設計 設計共同体	2 票	1 票	<b>優秀案</b>
08 株式会社 日総建	1 票	2 票	
01 株式会社 内藤廣建築設計事務所		3 票	
15 株式会社 山本理顕設計工場			

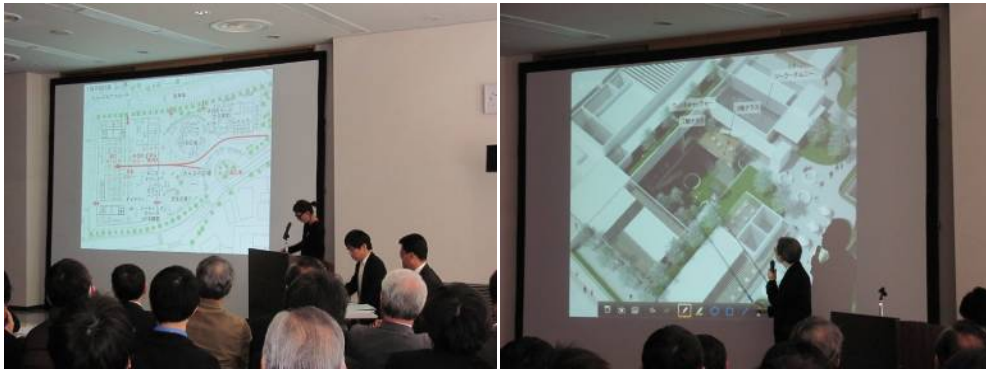
## 【2次審査の状況】

### 1. 会場の状況



### 2. プレゼンテーション（午前）の状況





### 3. ヒアリング（午後）の状況





#### 4. 審査会の状況



#### 5. 報告会の状況





### 3 審査講評

#### 日立市新庁舎建設設計提案協議 審査講評

2013年3月7日

日立市新庁舎建設設計提案競技審査委員会  
委員長 古谷誠章

この度の新庁舎建設には、2年前に発生した東日本大震災による被害、さらにそれ以前からの庁舎の老朽化、狭隘化、並びに分棟分散による業務の非効率化などの、多くの問題の解決が期待されています。

そうしたすべての日立市民や行政の願いに対し、心を尽くして設計提案をお寄せくださったすべての応募者の皆様に感謝を申し上げます。いずれの案も日立市に対する深い理解に基づき、建築の設計に対する情熱の注がれた、密度高く得難い提案ばかりでした。

そうした全14者の応募案の中から、提案者名を伏せて行われた1次審査において5者の通過者を選定し、去る3月2日（土）に、市民に公開のもとでプレゼンテーションおよびヒアリングを行いました。その後に引き続いて行われた審査委員会による2次審査において、討議ならびに投票によって最終的に最優秀1者、優秀1者を選定いたしました。

最優秀案に選ばれた登録番号12：(有)SANAA事務所による提案は、コンパクトに効率よくまとめられた市庁舎棟と、その前面に設けられる半屋外の大きなオープンスペースに特徴があります。

この敷地全体が「市民の広場」として、非常時に防災広場として機能するのはもちろんのこと、日常的にも多くの日立市民が気軽に訪れられるよう配慮されており、単なる従来の役所業務施設に留まらない、これからの次世代の市庁舎のあり方を見据えた提案です。世代を超えた老若男女にとっての憩いの場所となり、レストランや大会議室（多目的ホール）を国道近くに配置するなど、活性化が期待される中心市街地に対する波及効果も大いに期待されるものです。

庁舎棟では、市民に関係の深い窓口業務を1、2階に置き、広場側の市民活動スペースなどとの間に、明るく開放的でゆとりのある大空間（屋内広場）を配した点が特に優れています。今後の50年以上の長い年月の中で、市庁舎や市民サービスのあり方も大きく様変わりが予想されます。この大らかな空間がそうした変容に十分に対応する柔軟性をもつと考えられます。

提案はまだ基本的な考え方を示すものであり、今後の設計の過程で市民の要望を直接聞き取り、また行政の求めるものを詳細に盛り込んでいくことで、提案がより具体的で実効

性があり、日立市とその市民が真に求めるものとして完成されることを期待しています。

次点の優秀案となった**登録番号 05：日本設計・日立建設設計 設計共同体案**は、「みんなの舞台」と題して、これも市民の幅広い利用を構想した提案でした。

日立市の工業技術を表現したツイストルーバーによる日射のコントロールを施した高層部と、各階の内外に「舞台」空間をあしらった低層部からなり、日立市新庁舎建設基本計画が示した市庁舎に対する要望事項を的確に取り入れていました。駐車場における幹線ルートの提案や、街なかの回遊性にも配慮するなど、広範な計画全体について総合的にバランスが取れているとの評価がある一方で、吹抜けを介して庁舎全体を正方形平面でまとめる手法は、他市などの既存庁舎建築にも多いデザインで既視感があり、日立市の個性を感じにくいとの指摘もありました。

**登録番号 01：(株)内藤廣建築設計事務所案**は、駐車場を含む敷地及び建物全体を扇型の配置案とするもので、市庁舎全体を低層化して街にひらき、市民を迎え入れる形としての木造の大屋根が積層する造形に特徴がありました。

階段状の吹き抜けには一体感がありとても魅力的でしたが、新庁舎建設基本計画との整合を図る上での課題も懸念されました。

**登録番号 08：(株)日総建案**は、新庁舎建設基本計画の要求を忠実に守るという姿勢で提案がまとめられており、市庁舎としての機能は概ね満足されていると評価されました。

しかし他方で、発注者が想定する以上の建築的提案は期待できないのではないかとの意見もありました。L字型の高層棟部分の妻面のデザインにも、その正面性に疑問が呈されました。

**登録番号 15：(株)山本理顕設計工場案**は、庁舎全体を3階建てと低層化し、敷地の高低差を利用して「上の街」の子育て世代と、「下の街」の高齢者世代を繋ぐという計画に独創性があり、強い意欲を感じさせるものでした。

屋上の活用や接地階の屋根下空間に、災害時や日常時での多様な活用が期待されましたが、井桁状の大きな構造計画が平面計画に及ぼす制約が危惧され、それを払拭することができませんでした。

日立市に育ち、郷土に対する愛着をもつ最優秀者となった設計者とその共同者が、将来の日立市のよきパートナーとなって、最優秀となった提案が今後より多くの市民との協働、市議会との連携、行政担当者との共同作業を経て、さらにブラッシュ・アップされて行くことを願っています。

**日立新庁舎建設設計提案競技  
審査結果報告書**

-----  
平成 25 年 4 月  
日 立 市  
-----

日 立 市 総 務 部 新 庁 舎 整 備 局  
〒317-8601 日 立 市 助 川 町 1 丁 目 1 番 1 号  
TEL.0294-22-3111